

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社ニッピ 上場取引所 東
コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 裕子
問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之 TEL 03-3888-5117
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	37,468	1.7	2,597	6.0	2,661	7.0	1,882	5.3
2024年3月期第3四半期	36,853	8.9	2,450	128.9	2,486	106.2	1,788	123.1

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,308百万円(2.0%) 2024年3月期第3四半期 2,262百万円(109.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	654.57	—
2024年3月期第3四半期	621.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	70,910	39,976	55.3
2024年3月期	72,394	38,304	52.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 39,231百万円 2024年3月期 37,619百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	220.00	220.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	220.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△0.1	3,000	△17.0	3,000	△19.8	2,000	△21.5	695.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,889,000株	2024年3月期	2,889,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	13,276株	2024年3月期	13,138株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,875,779株	2024年3月期3Q	2,875,954株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな景気の回復が続いておりますが、人件費、燃料価格、物流コストなどの上昇により、今後も物価高騰圧力の高い状況が続けば、実質賃金の目減りにより消費意欲の抑制につながるものが懸念されております。また、アメリカ新大統領の経済政策の行方、地政学リスクの高まり、中国経済減速の影響など国内の景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、引き続き生産性の向上、製造費、販売費、管理費の見直し、高付加価値商品の開発などに取組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間は、輸入為替の影響などを受け原材料費が上昇し、また、人件費などのコストアップも影響し、ゼラチン関連事業と皮革関連事業においては減収減益となりましたが、その他の報告セグメントは概ね順調に推移したことにより全体では増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、37,468百万円(前年同四半期比1.7%増)となり、営業利益は、2,597百万円(同6.0%増)、経常利益は、2,661百万円(同7.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,882百万円(同5.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は、着色ケーシングが順調に推移したものの、フランクサイズが行楽シーズンの天候不順などの影響で苦戦しました。一方で、輸出販売は、北米向けが順調に推移した結果増収となり、前四半期連結累計期間並みに推移しました。利益面では、原料の値上がりや人件費の上昇はあったものの、生産が順調であったことと輸出為替の影響から増益となりました。

この結果、売上高は、7,057百万円(前年同四半期比0.0%増)となり、営業利益及びセグメント利益は、885百万円(同32.3%増)となりました。

② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、惣菜用、医薬品向けなどが好調だったものの、グミ用、カプセル用は競争激化により苦戦しました。ペプタイド国内販売は、価格競争の激化と健康食品の健康被害問題の影響を受け、また、輸出販売は、中国製安価品の攻勢や処理水の風評被害による影響などを受けて減収となりました。利益面では、価格改定後の円安の進行と長期化により原料価格の上昇が続き減益となりました。

この結果、売上高は、9,957百万円(同6.7%減)となり、営業利益は、1,106百万円(同9.9%減)、セグメント利益は、1,109百万円(同10.5%減)となりました。

③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、2024年10月に新商品を発売するなど新たな顧客層の開拓に注力しやや上向きに転じているものの、上期ではドラッグストアなどで販売されている安価品に流れ、減収となりました。一方で、健康食品の販売は、物価高騰による消費マインドの低下や健康食品サプリメントの健康被害報道の影響はあったものの、引き続き「ニッピコラーゲン100」の固定客化が進んでいる結果、続伸して増収増益となりました。

この結果、売上高は、5,781万円(同1.2%増)となり、営業利益及びセグメント利益は、606百万円(同4.3%増)となりました。

④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、紳士用、婦人用ともに需要の回復により順調に推移しました。一方で、ハンドル用革の販売は、生産工程や処方などの改善などによりコストダウンできたものの、中国経済の減速や不正データ問題に伴う自動車の生産や販売の一時停止などの影響もあって苦戦し、事業全体では減収となりました。また、利益面では輸入為替を含めた原材料、資材、運賃、人件費などのコストアップが影響し減益となりました。

この結果、売上高は、5,655百万円(同0.3%減)となり、営業利益及びセグメント利益は、193百万円(同25.3%減)となりました。

⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場用地として有効活用を図っております。また、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋における商業施設用地並びに浪速区なんばにおける「なんばパークスサウス」(タイの高級ホテル、ライフスタイル型ホテル及びオフィスビル用地)として有効活用を図っております。

この結果、売上高は、798百万円(同0.4%増)、営業利益は、629百万円(同0.9%減)、セグメント利益は、630百万円(同0.9%減)となりました。

⑥ 食品その他事業

有機穀物は、安定した需要に支えられ、また、外食産業向けのイタリア輸入食材は、輸入為替の影響はあったものの需要の回復が進み、ともに好調に推移しました。バイオ関連製品は、国内外製薬会社や民間研究機関を中心に堅調に推移した結果、増収増益となりました。

この結果、売上高は、8,217百万円(同18.4%増)となり、営業利益は、463百万円(同50.8%増)、セグメント利益は、460百万円(同55.7%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、70,910百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,484百万円減少しました。これは主に、投資有価証券が542百万円増加しましたが、現金及び預金が518百万円、棚卸資産が631百万円、有形固定資産が623百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、30,933百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,156百万円減少しました。これは主に、短期借入金が969百万円、未払法人税等が646百万円、長期借入金が1,583百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、39,976百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,672百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が1,249百万円、その他有価証券評価差額金が322百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,778	8,260
受取手形及び売掛金	9,822	9,942
商品及び製品	8,087	7,973
仕掛品	815	673
原材料及び貯蔵品	1,340	965
未収消費税等	244	90
その他	577	397
貸倒引当金	△65	△65
流動資産合計	29,602	28,237
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,258	6,897
機械装置及び運搬具(純額)	1,205	985
土地	28,522	28,522
リース資産(純額)	89	74
建設仮勘定	397	362
その他(純額)	211	217
有形固定資産合計	37,683	37,059
無形固定資産		
リース資産	11	-
その他	193	196
無形固定資産合計	204	196
投資その他の資産		
投資有価証券	4,317	4,859
長期貸付金	5	0
繰延税金資産	74	74
破産更生債権等	3	3
その他	552	515
貸倒引当金	△49	△37
投資その他の資産合計	4,902	5,415
固定資産合計	42,790	42,671
繰延資産	1	1
資産合計	72,394	70,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,019	8,250
短期借入金	5,774	4,804
リース債務	33	21
未払法人税等	982	336
未払消費税等	65	52
賞与引当金	490	279
役員賞与引当金	33	20
その他	2,255	2,314
流動負債合計	17,656	16,079
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	7,592	6,009
長期未払金	161	63
リース債務	74	59
繰延税金負債	1,732	1,877
再評価に係る繰延税金負債	3,644	3,644
役員退職慰労引当金	546	540
退職給付に係る負債	2,167	2,142
資産除去債務	6	6
その他	407	410
固定負債合計	16,433	14,854
負債合計	34,090	30,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	21,641	22,891
自己株式	△39	△40
株主資本合計	27,936	29,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,204	1,527
繰延ヘッジ損益	63	52
土地再評価差額金	7,858	7,858
為替換算調整勘定	550	598
退職給付に係る調整累計額	6	9
その他の包括利益累計額合計	9,682	10,045
非支配株主持分	684	745
純資産合計	38,304	39,976
負債純資産合計	72,394	70,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	36,853	37,468
売上原価	27,439	27,582
売上総利益	9,414	9,885
販売費及び一般管理費	6,963	7,287
営業利益	2,450	2,597
営業外収益		
受取利息	2	14
受取配当金	100	121
為替差益	19	3
持分法による投資利益	14	25
その他	35	28
営業外収益合計	172	193
営業外費用		
支払利息	96	99
手形売却損	21	15
その他	18	13
営業外費用合計	136	129
経常利益	2,486	2,661
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	-	69
会員権売却益	-	2
受取補償金	33	-
特別利益合計	36	71
特別損失		
固定資産除却損	42	0
特別損失合計	42	0
税金等調整前四半期純利益	2,480	2,733
法人税、住民税及び事業税	676	778
法人税等調整額	△30	7
法人税等合計	645	785
四半期純利益	1,834	1,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,788	1,882

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,834	1,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	323
繰延ヘッジ損益	△1	△12
為替換算調整勘定	151	47
退職給付に係る調整額	△14	2
その他の包括利益合計	427	361
四半期包括利益	2,262	2,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,214	2,245
非支配株主に係る四半期包括利益	48	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,055	10,677	5,713	5,673	795	6,937	36,853	—	36,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	11	—	—	0	—	12	△12	—
計	7,055	10,689	5,713	5,673	795	6,937	36,865	△12	36,853
セグメント利益	669	1,239	582	258	635	295	3,680	△1,229	2,450

(注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	コラーゲ ン・ケーシ ング事業	ゼラチン 関連事業	化粧品 関連事業	皮革 関連事業	賃貸・不 動産事業	食品その 他事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,057	9,957	5,781	5,655	798	8,217	37,468	—	37,468
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3	—	—	0	—	3	△3	—
計	7,057	9,960	5,781	5,655	799	8,217	37,471	△3	37,468
セグメント利益	885	1,109	606	193	630	460	3,885	△1,287	2,597

- (注) 1 セグメント利益の調整額の区分は報告セグメントに含まれない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,148百万円	984百万円